

大洲の巨石をめぐる



大洲に残る巨石の規模や総数は全国でも群を抜いて、極めてまれな地域と言われています。

大洲市高山にある巨石(3)は、高さが4・75メートルもあり、大洲市の文化財に指定されています。このような巨石は、市内にくつも存在していません。

当初、大洲の巨石は、昭和3年来訪以前は、あまり注目されることはありませんでした。その後鳥居氏の調査に触発された、郷土史家の横田伝松氏や長山源雄氏により、大洲の巨石についての考察が『伊予史談』に紹介されると、一躍注目されることになりました。

しかし、巨石については、大洲地域で取り上げられるようになった経緯なども含めて、考古学や民俗学の面から再検討すべき多くの課題があります。

未だ、数多くの巨石が眠っている大洲。私たちの郷土には、このような巨石に代表される不思議な魅力が残っています。

今月号では、市内にある巨石の一部を紹介しました。これを機に、巨石に関心を持ち、足を運んでみてはいかがでしょうか。

巨石信仰

- 1 メンヒル（成見）
- 2 磐座（北只「粟島神社」）
- 3 メンヒル（高山）
- 4 長持岩（高山）
- 5 ドルメン（富士山）
- 6 立石（高山三島神社）
- 7 立石（五郎荒田）



大洲市内にある巨石については、なぜ巨石が注目されるようになったかなど解明すべき多くの謎があります。考古学・民俗学などの観点から言うと、遺跡というより信仰の一つであると考えられます。

そのため、市内に存在する巨石には「石仏」、「山ノ神」、「伊佐高権現いまたかごんげん」、「座禪石」などといった宗教的な呼称がつけられています。このことから、地元の人たちによって、昔から祭られてきたものであると推測されます。

みなさんぜひ、身近な巨石を探してみてください。



学芸員（大洲市教育委員会）
白石 尚寛なおひろ さん

▽メンヒル
自然石ないし、多少の加工を施して立てられた単一の柱状の石（日本では「立石」と呼ばれる）

▽ドルメン
2基ないし、それ以上の支石により、1枚の扁平の天井石を支えたテーブル状の構築物

▽磐座いわくら
神が降臨する山中の巨石（大洲で一番多く存在するもの）

大洲を盛り上げます！ 「龍馬がゆく！大洲」150年記念事業

3月26日(月)に河辺ふるさと公園で行われたオープニングイベントを皮切りに、市内各地で「龍馬がゆく！大洲」150年記念事業の関連イベントが継続して行われています。どれも特色あるイベントで、楽しさ満載。そんなイベントの一部をご紹介します。

龍馬よ！大川に來い！鯉！恋



5月3日(木)、大川鯉のぼり川渡しイベントでは、屋形船で川を下ってきた龍馬とお龍が現れ、イベントを盛り上げました。

茂本ヒデキチ氏の墨絵展示



茂本ヒデキチ氏の墨絵が、大洲城・おおず赤煉瓦館・大洲歴史探訪館の3会場で12月31日まで展示されています。

町並みをミュージアム化



明治大正時代の印刷物を復刻し、現存する商店などに掲げます。懐かしさを覚える看板に、たくさんのお告物を楽しむことができます。

龍馬モニュメント

鹿野川大橋の袂では今後、特大わらじが設置されることになっていて、9月には、龍馬のイルミネーションが点灯する予定です。

【今後の主な事業】

- ▽なりきり龍馬パック
龍馬の衣装を着て写真撮影や市内散策(7月～12月)
- ▽龍馬講話と喜界島三味線の調べ
龍馬が宿泊したとされる青島で龍馬の講話や音楽会を開催
(7月7日・21日)

- ▽川まつり花火大会
龍馬をテーマとした花火大会
岳人山がくしんさんさんの尺八ライブも同時開催(8月3・4日)
- ▽龍馬の炭窯設置
脱藩の道の途中に炭窯を設置し、炭焼き体験(9月)

【問い合わせ先】
商工観光課観光係
☎1717(直通)



大洲史談会施設管理会
上杉 潤 さん

市民参加型のイベントです
「なりきり龍馬パック」

大洲史談会施設管理会では、龍馬脱藩150年記念事業の関連イベントとして、「なりきり龍馬パック」というイベントを企画しました。

この企画は、参加者が龍馬の衣装を着て、写真撮影や市内を散策するもので、大洲城内コース、町並みコースを設定しています。

歴史的な町並みが残る肱南地区を、武士が手を振って歩く姿が城下町・大洲の魅力を最大限に引き出してくれると思います。

今回、龍馬の衣装だけでなく、お龍や子ども用の衣装も用意しています。みなさんの参加を心からお待ちしています。



5月20日(日)

みんな仲良く元気にウォーキング ～肱川ウォークラリー～

青少年健全育成事業の一環として、肱川地域内の小学生を対象とした肱川ウォークラリーが、開催されました。

肱川公民館から鹿野川ダム、鹿野川園地、丸山公園と肱川町の自然に触れ合いながら、最初に渡された問題の答えをみんなで一生懸命探し、ゴールとなる肱川公民館までの4キロを1時間10分かけて歩きました。



5月13日(日)

催しものいっぱい ～第11回出海ふれあい祭り～

多くの来場者が集まる中、長浜町出海地区で、第11回出海ふれあい祭りが盛大に開催されました。

午前中はバンド演奏、ダンスパフォーマンス、フラダンス、午後からは太鼓演奏やお楽しみ抽選会、もちまきが行われ、終始会場を沸かせました。

イベント満載の出海ふれあい祭りは、2年に1度開催されています。



5月27日(日)

いざという時のために ～AED講習会～

河辺基幹集落センターで第6回目のAED講習会が行われました。当日の講習会には、河辺地域の住民19人が参加し、大洲消防署川上支署の職員の指導により、救命処置の方法を学びました。

河辺地域は、救急車を要請しても到着に20～30分かかります。救命措置の仕方を身につけておくことは大変重要なことで、有意義な講習会となりました。



5月16日(水)

感謝状を贈呈

～総務省愛媛行政評価事務所長感謝状～

松山市のにぎたつ会館で開催された平成24年度行政相談委員全体会議において、本市の行政相談委員の小澤功さんに総務省愛媛行政評価事務所長から感謝状が贈呈されました。

これは、小澤さんが住民からの行政に対する苦情や意見、要望などを受け付け、その解決や実現のために地道な活動を行ってきたことが認められて贈呈されたものです。